

生誕一五〇周年記念特別企画展

日本のビール王 高橋龍太郎



会 期

11月1日(土)～12月21日(日)

会 場

内子町歴史民俗資料館 蔵展示室
(商いと暮らし博物館)

開館時間

午前9時～午後4時30分

入館料

大人200円 小人100円 (※施設入館料)

主催：内子町

協力：アサヒビール株式会社、愛媛県生涯学習センター、愛媛県立松山東高等学校 ほか

生誕一五〇周年記念特別企画展

日本のビール王 高橋龍太郎

内子町に生まれ、日本のビール業界の発展に尽くし、「日本のビール王」と呼ばれた高橋龍太郎。その功績は政治や経済、スポーツと幅広い分野に及びます。令和7年は生誕150年にあたる年です。これを記念して、その生涯と業績を紹介する企画展を開催します。



高橋龍太郎ってどんな人？

明治8年（1875）、内子町生まれ。旧制松山中学校を経て明治31年（1898）、第三高等学校（現京都大学）を卒業し、大阪麦酒株式会社に入社。同年、ビール醸造の技術習得のためドイツに留学し、醸造技術を学ぶ。帰国後、吹田工場技師、大日本麦酒株式会社の発足時には吹田工場長となり国産ビールの醸造技術向上に力を注いだ。昭和12年（1937）には社長に就任。大日本麦酒を世界三大ビールに発展させ、日本のビール王と呼ばれた。

昭和26年（1951）には吉田内閣の通商産業大臣として戦後日本経済の復興に尽くした。

晩年にはアマチュアスポーツの振興に尽力し、日本サッカー協会会長やプロ野球球団「高橋ユニオンズ」のオーナーをつとめたことでも知られる。昭和42年（1967）、92歳で死去。

関連講座

「近代ビール醸造とアサヒビールの誕生」

講師：藤井 裕之氏（吹田市立博物館元副館長）

日時：11月16日（日）10:00～12:00

場所：内子町歴史民俗資料館 2階大広間
（商いと暮らし博物館）

※参加費無料、要申込

展示解説会

担当学芸員による展示解説を行います。
開始5分前までに当館受付にお越しください。

日時：11月23日（日・祝）10:00～11:00

場所：内子町歴史民俗資料館展示室

※参加費無料、但し観覧料必要

申し込み・問い合わせ先



Facebook



Instagram

内子町歴史民俗資料館（商いと暮らし博物館）

〒791-3301 愛媛県喜多郡内子町内子1938番地 TEL:0893-44-5220

HP: <https://www.town.uchiko.ehime.jp/soshiki/3/rekimin.html>

